

12月1日のウクライナ情報

安齋育郎

①【Russia News】11/27 時事ネタ水曜版です👁️!!(ニキータ伝～ロシアの手ほどき、2024年11月27日)

時事ネタ水曜版をお届け致します！長距離兵器をキエフ政権が置かれた状況を国内状況から推察します

<https://youtu.be/xWZLFIJFM0o>



<https://www.youtube.com/watch?v=xWZLFIJFM0o>

②プーチン大統領は最後に笑うのか？ウクライナ人は寒さの中で死に追いやられ、ゼレンスキー大統領のロシアへの徹底攻撃は裏目に出る(2024年11月28日)

<https://youtu.be/XlZ-xnfSUos>



ロシア軍は一晩中ウクライナのエネルギーインフラに大規模な攻撃を実施した。ガーディアン紙の報

道によると、ウクライナ全土で少なくとも 100 万人が停電している。ロイター通信は、ロシア軍の攻撃により西部の 3 地域が停電の影響を受けていると報じた。一方、ロシア軍がミサイルを連続発射したことを受けて、全国的な空襲警報も発令された。詳細については、このビデオをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=XlZ-xnfSUos>

③ゼレンスキー氏が巨額の赤字予算に署名、不足分は果たしてどの国が支払うことに……(2024 年 11 月 29 日)

ウクライナのゼレンスキー氏は二年連続で巨額の赤字予算に署名した。

支出は 866 億ドル(約 13 兆円)。一方、税収は 493 億ドル(7 兆 4000 億円)を見込んでおり、不足する 373 億ドル(約 5 兆 6000 億円)の補填を西側諸国に要請する模様。

支出は軍事費が最大で 536 億ドル、社会保障費が 101 億ドル、医療・保健が 52 億ドル、教育が 47 億ドルとなっている。

トランプ政権がウクライナ支援を削減した場合、ウクライナ政府は米国以外の G7 諸国に支援を要請すると表明している。



<https://sputniknews.jp/20241129/19364376.html>

④ロシア領の侵略作戦に参加していた英国の戦闘員が拘束、「ロシア語を学びたくなった」(2024 年 11 月 29 日)

ロシア連邦クルスク州の侵略作戦に関与していた英国人戦闘員のジェームズ・アンダーソン被告(22)は拘束され、現在ではロシア語の学習を始めようと考えている。

被告は記者団に対し、「自分はロシア語を勉強し始めたほうがいいかもしれない」と語った。

被告はウクライナ軍の一員として不法にロシアの国境を越え、クルスクの戦闘に参加したとして起訴された。被告は民間人に危害を加えていないと主張している。

紛争に参加した理由について、金銭的な問題だったと述べている。被告は英国でリストラされ、経済的に頼れる親族もいなかったため、ウクライナ軍外国人部隊への入隊を希望し、ポーランド経由で

現地に到着したとのこと。その後、被告は11月15日にロシア領へと侵入し、23日には身柄を拘束された。被告の裁判は二ヵ月後に始まる見通し。

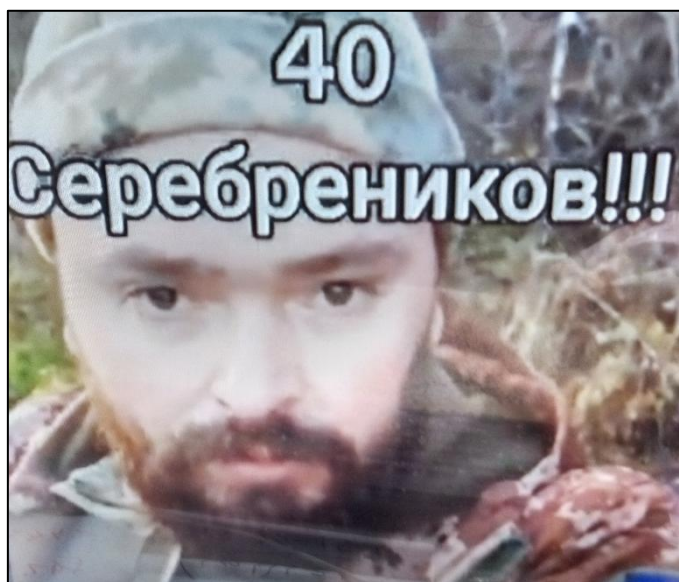


<https://sputniknews.jp/20241129/276-19364475.html>

⑤ウクライナ兵士が何かを気づき始めた(2024年11月28日)

「ゼレンスキーユダは40ペニーでウクライナを売った。欧米は我々に武器を売ってそれで戦わせてきた。ウクライナの土地を売却され、今ではゼレンスキーは小銭に資源を差し出すと言ってる。ということは、今は欧米の資源を守るために戦わされてる。今まで亡くなった人はどんなに無念だったのか。ゼレンスキークソ野郎だ」

<https://x.com/i/status/1862099620089991208>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1862099620089991208?s=09>

⑥スコット・リッター:NATOはアメリカにとって最大の脅威(2024年11月28)

目)

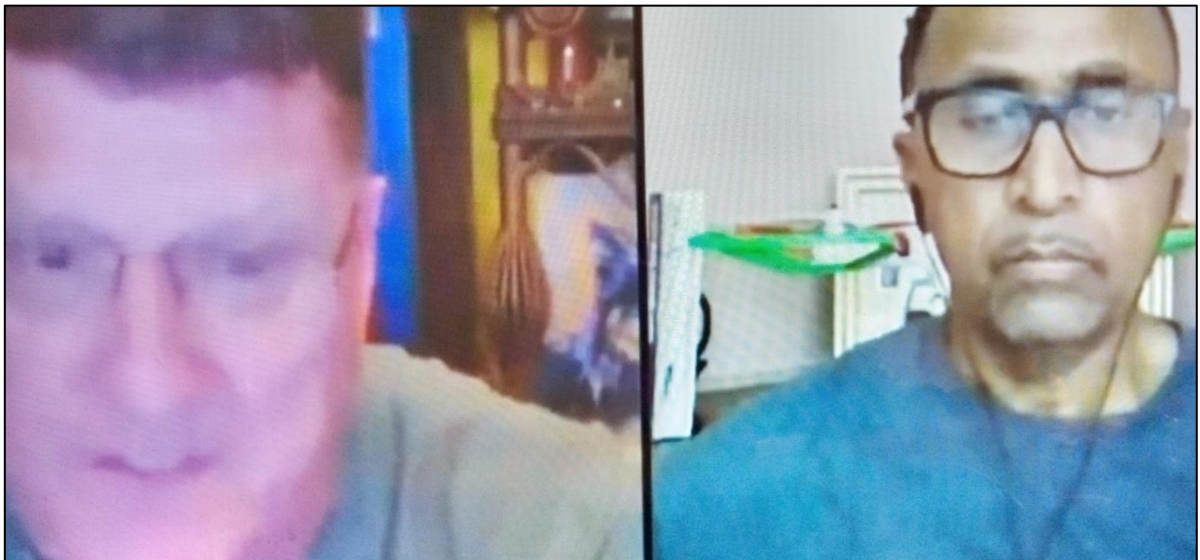
「NATOは終わるだろう。現在の形のEUも終わるだろう。ヨーロッパはロシアの利益に反しない新しいやり方を考え出さなければならない。真のパートナーにならなければならない。しかし、欧州連合(EU)やNATO、そして最も興味深いのはG7のような機関を基盤とする欧州は、パートナーとしてロシアと協力することができない機関である。

したがって、ロシアとの経済的パートナーシップなしにはヨーロッパは存続できないのだから、これらの制度は終わりだ。消滅するのだ。これが私たちが生きる新しい世界だ。これがマガ革命の結果だ。そして、もし彼らの思い通りになれば、世界は本当に安全になる。なぜなら、みなさん、NATOはアメリカにとって最大の脅威であることをお伝えしたいからです。なぜなら、もし我々がNATOの一員であり続け、NATOを支持し続けるなら、

ロシアとの戦争が起こり、核戦争に発展し、我々は皆死んでしまうからだ。

NATOは、世界の安全保障と安定にとって最も重大かつ差し迫った脅威である

<https://x.com/i/status/1862118453194444892>



<https://x.com/Z58633894/status/1862118453194444892?s=09>

⑦「ウクライナ最新情勢—停戦が見えてきたウクライナ情勢」(矢野義昭、2024年11月29日)

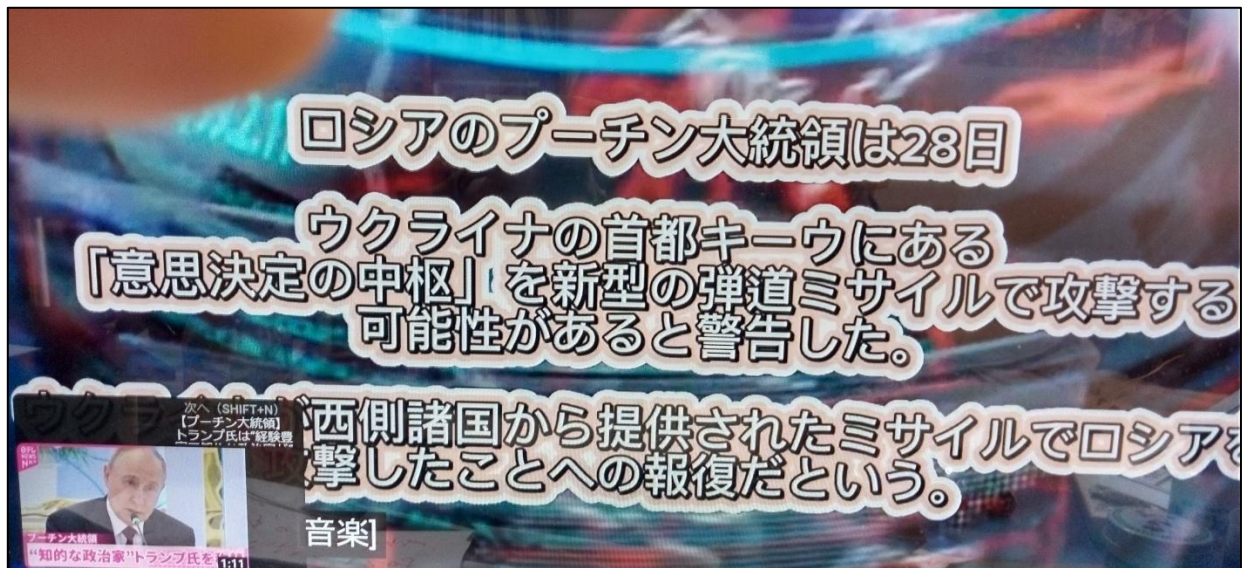
<https://youtu.be/7sX6oUVWSGQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=7sX6oUVWSGQ>

⑧ロシアのプーチン大統領「ウクライナの首都キーウにある「意思決定の中枢」を新型の弾道ミサイルで攻撃する可能性がある」と警告！」(2024年11月28日)

<https://youtu.be/kZBP6YnUN0o>



<https://www.youtube.com/watch?v=kZBP6YnUN0o>

⑨【ロシア・ウクライナ紛争】ウクライナへ核移転の噂、戦争は最も危険な段階に入っている(2024年11月29日)

<https://youtu.be/wgEyZuhuiPk>



今回は、アメリカ、イギリス、フランスもロシアも互いに相手に屈しないという意思を示すかのように情報合戦の最中というお話です。

ニューヨーク・タイムズ紙は核兵器をウクライナに返還するという提案さえあったことを報じています。トランプ・バンス和平提案とその決意にも関わらず、英米、仏は、まだ和平停戦を考えず、あくまでもウクライナを代理人としてロシアと戦い続ける覚悟のように見えます。

ロイターは、ロシア軍の前進が、ウクライナ東部方面で加速していると報じました。また、前進の推進力は、ドネツクにあり、ロシア軍は、ポクロフスクの町とクラホヴェの町に向かって前進している。ロシアのアナリストによると、ロシアはますます陣地を包囲し、その後、大砲や滑空爆弾でウクライナ軍を攻撃している。

これは毎度お騒がせのウクライナのベズラ議員のテレグラムの投稿です。彼女は、ウクライナの多くの問題を列挙しました。「正直に言うと、嘘、嘘、嘘、そして国家の組織的な特徴としての腐敗で、ほとんど希望がないようです」「ポクロフスクとドニプロペトロウシク州へのロシア軍の進出」、「国防省が受け入れ、最前線に設置した 10 万個の低品質砲弾」

11/26、NATO・ウクライナ理事会は、先週ロシアが実験的な中距離弾道ミサイル、オレシュニクを発射したことを受けて、NATO 同盟国は、さらに団結を固めウクライナへの支援を再確認したといえます。

<https://www.youtube.com/watch?v=wgEyZuhuiPk>

⑩【ウクライナ戦争速報】トランプ-プーチン非公式交渉【及川幸久】(2024年 11月 28日)

<https://youtu.be/rASYZH8QfgQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=rASYZH8QfgQ>